

長崎県知事

中村 法道様

長崎県入札監視委員会
報告及び意見書

平成27年3月31日

長崎県入札監視委員会

委員長 篠原 俊一

長崎県入札監視委員会から知事への報告及び意見

本県の建設投資額は長らく減少傾向にありましたが、前年度に続いて平成25年度大型補正予算が組まれたこともあり、一部の工事においては前年度と同様に人員・資材不足等を要因とする入札の不調・不落が発生しているため、引き続き不調・不落に関する状況について注視していく必要があります。

また、これまでも県及び市町職員を対象とした談合防止に向けた研修が行われていますが、平成26年度も県内外において発注者が関与した入札妨害事件等が発生しています。このような不祥事は入札制度全般に対する信頼を失うことから、より一層のコンプライアンスの徹底が求められます。

平成26年度は、入札事務等における公正の確保と透明性をさらに深めていくため、1件ごとの個別審議に加え、すべての抽出事案を審議対象とする一括審議を試行いたしました。これにより2回の定例会議において36件を抽出し、個別審議にて10件、一括審議にて26件審議を行いました。

審議の結果、要綱・要領等に沿って適正な入札が執行されていることを確認したのでご報告いたします。

今後とも長崎県が公正で適切な入札事務に取り組み、入札及び契約制度の維持改善に努められることを期待し、次のとおり意見を具申いたします。

1．円滑な入札の執行について

公共工事を取り巻く環境が様々に変化する中、入札の不調・不落を極力回避し、円滑かつ競争性が担保された入札が実施されるよう、社会環境の変化に応じた積算の実施や入札参加者の確保等を図るための適切な対応に努めること。

また、公共工事の入札及び契約を厳正かつ適正に執行するため、入札結果を注視し、柔軟な制度の運用を図ること。

2．コンプライアンスの徹底について

今年度、県内外の他の発注機関において入札金額に関する情報漏えいといった官製談合事件が発生した事実を真摯に受けとめ、公正かつ適正な入札制度の確保がなされるよう、引き続きコンプライアンスの確保に取り組むこと。

発注部局職員の更なる意識向上のため、入札談合防止に関連する諸法令と入札及び契約の適正化の周知などの研修に継続的に取り組むこと。

以上

審議経過

第1回定例会議（平成26年8月7日開催）

- 1) 入札状況の概要説明
- 2) 指名停止等の状況説明
- 3) 事案審議（20件）

第2回定例会議（平成27年1月29日開催）

- 1) 入札状況の概要説明
- 2) 入札不調・不落状況の概要説明
- 3) 指名停止等の状況説明
- 4) 事案審議（16件）

審議対象件数

（平成25年11月～平成26年10月）

	総務部	文化観光物産局	スポーツ大会部 国体・障害者	環境部	水産部	農林部	土木部	教育庁	警察本部	計
入札件数	12	3	1	7	174	253	1582	69	86	2187
審議事案	1	1	-	-	6	8	14	2	4	36

長崎県入札監視委員会委員名簿

区 分	氏 名	職 業	備 考
経 済 分 野	篠原 俊一 (長崎市)	経済同友会会員	委員 長
	吉居 秀樹 (佐世保市)	長崎県立大学経済学部 教 授	委員 長 代 理
法 律 分 野	魚住 昭三 (長崎市)	弁 護 士	
技 術 分 野	玉井 宏章 (長崎市)	長崎大学大学院 工学研究科教授	
	中村 聖三 (長崎市)	長崎大学大学院 工学研究科教授	
学 識 経 験 者	磯野 浩 (島原市)		委員 長 代 理 公 募 委 員
	渋江 康敏 (佐世保市)		公 募 委 員
	寺岡 高志 (福岡市)		
	中川内隆四郎 (佐世保市)		公 募 委 員